

- 問1 幕末の長州藩において松下村塾を主宰し、のちの明治維新を支える多くの人材を育てたものの、幕府の对外政策を批判したために、大老の井伊直弼による「安政の大獄」で処刑された人物は誰ですか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
1. 高杉晋作 2. 吉田松陰 3. 木戸孝允 4. 井伊直弼
- 問2 18世紀後半のイギリスでは、マンチェスターなどの都市を中心に、ワットが改良した蒸気機関などの新技術が導入されました。これにより、手作業による生産から機械を用いた大規模な生産へと移行し、社会の仕組みが農業中心から工業中心へと劇的に変化した出来事を漢字4字で何といえますか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 市民革命 2. 産業革命 3. 文明開化 4. 技術革新
- 問3 1858年に日本とアメリカの間で結ばれた条約は、日本の主権を損なう内容を含んでいたため「不平等条約」と呼ばれます。その不平等な点について、外国人が日本で犯罪を犯した際に日本側に裁く権利がないことと、日本が輸入品に対して自由に税率を決める権利がないことの組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 参政権を認め、関税自主権がない。 2. 領事裁判権を認め、関税自主権がない。 3. 関税自主権を認め、領事裁判権がない。 4. 領事裁判権を否定し、関税自主権がある。
- 問4 1854年にアメリカのペリーと江戸幕府との間で結ばれた日米和親条約では、アメリカ船に薪水や食料を補給することを目的として、2つの港を開くことが決められました。そのうちの1つは静岡県の下田ですが、もう1つ、北海道の南部に位置する港はどこですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 新潟 2. 函館 3. 長崎 4. 横浜
- 問5 幕末の貿易において、日本を開国させた当事国であるアメリカの貿易シェアが急速に低下し、代わってイギリスが圧倒的なシェアを獲得した背景として、当時のアメリカ国内の状況を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
1. アヘン戦争に敗北した影響で、東アジアにおける外交権を失っていた。 2. 国内で南北戦争が勃発し、国外への貿易に注力する余裕がなくなった。 3. 江戸幕府ではなく、薩摩藩や長州藩などの有力な雄藩との個別貿易を優先した。 4. 産業革命の進展が遅れ、日本に輸出するための工業製品が不足していた。
- 問6 リンカンが大統領として指導した南北戦争の背景と、彼が果たした役割についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
1. 奴隷制の拡大に反対する北部を率い、戦争中に奴隷解放宣言を出すことで国内外の支持を得て、国家の統一を維持した。 2. 世界恐慌による経済混乱を收拾するため、公共事業を拡大するニューディール政策を実施して失業者の救済に努めた。 3. イギリスによる植民地支配からの独立を目指し、独立宣言を起草して大陸軍を指揮し、初代大統領に就任した。 4. 西欧列強による不平等条約の改正を目指し、岩倉使節団を派遣するなどして日本の近代化の礎を築いた。
- 問7 1867年、二条城において第15代将軍徳川慶喜が家臣に決意を伝え、政権を朝廷に返上することを申し出ました。この歴史的出来事を何といいいますか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 廃藩置県 2. 版籍奉還 3. 王政復古の号令 4. 大政奉還
- 問8 幕末の動乱から明治維新へ至る過程を記した年表において、大老の井伊直弼が暗殺された「桜田門外の変」の後に発生し、薩摩藩が攘夷の困難さを認識してイギリスへの接近を図るきっかけとなった出来事は何ですか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
1. 薩英戦争 2. 薩長同盟 3. 鳥羽・伏見の戦い 4. 版籍奉還
- 問9 19世紀中頃のアメリカ合衆国は、北アメリカ大陸での領土を急速に西へ広げ、ついに太平洋沿岸に到達しました。この時期のアメリカが、さらに海を越えて実現しようとしていた目的として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
1. 「世界の工場」としてヨーロッパ全域に工業製品を輸出すること 2. シベリア方面へ進出し、北アジアでの領土獲得を目指すこと 3. 太平洋を経由して東アジアとの貿易を拡大すること 4. アフリカ大陸の沿岸部に大規模な植民地を建設すること
- 問10 1844年に江戸幕府の将軍へ送られた、開国を促す親書の内容について述べた文として、当時の背景を踏まえた最も適切なものはどれですか。なお、この親書はアヘン戦争に関する記述や、蒸気船の製造による世界的な距離の短縮に触れた外交文書の要約に基づいています。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. アメリカ大統領が軍艦を派遣することを予告し、速やかに港を開放して通商条約を結ぶよう求めた。 2. ロシア皇帝が北方の領土問題を解決するために、日本と共同で清を牽制することを提案した。 3. 清の皇帝からの要請を受け、アジア諸国が一致団結してヨーロッパの進出を拒否するための同盟を提言した。 4. イギリスとのアヘン戦争に敗れた清の惨状を伝え、蒸気船の発達などにより鎖国の維持が困難であることを警告した。
- 問11 幕末から明治初期にかけての貿易の展開が、国内の産業や経済に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 輸入額が輸出額を大幅に下回り続けたため、国内では金や銀などの貨幣が大量に蓄積された。 2. 安価な綿織物が大量に輸入されたことで、国内の綿織物業や綿作が大きな打撃を受けた。 3. 生糸の輸出が急増したことで、国内の絹織物業が衰退し、原料である繭の生産も中止された。 4. 茶の輸出を制限するために、幕府は主要な港を閉鎖し、外国との取引を一部の商人だけに限定した。
- 問12 静岡県伊豆の国市にある遺構や、薩摩藩が建設した当時の模型、およびそこで鑄造された大砲の模型から確認できる、幕末の技術革新の象徴とされる施設の名称を答えなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 商館 2. 製糸場 3. 適塾 4. 反射炉
- 問13 1859年の開港後、幕末の日本国内では生糸や米などの物価が急激に上昇し、庶民の生活が圧迫されました。このような事態を招いた直接的な原因として、当時の流通の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 海外から大量の金が入流したことと国内の貨幣価値が相対的に上がり、物価のバランスが崩れたため 2. 幕府が外国との戦争に備えるため、生糸や米などの主要な物資をすべて買い上げ、輸出を禁止したため 3. 貿易商人が輸出用の商品を確保するために国内産品を買い占め、国内市場で品不足が発生したため 4. 外国から安価な綿製品が大量に輸入されたことで、国内の綿織物業が衰退し生産が止まったため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 吉田松陰	長州藩（現在の山口県）出身の思想家である吉田松陰は、松下村塾で伊藤博文や山県有朋などの若者を指導しました。幕府が朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだことを厳しく批判した結果、安政の大獄という弾圧によって処刑されましたが、その思想は弟子たちに引き継がれ、明治維新の原動力となりました。
問2	答え 2 産業革命	18世紀後半のイギリスで始まった、動力の革新と機械の導入による生産力の飛躍的な増大を指します。これにより資本主義経済が確立され、人々の生活や社会構造が根本から変化しました。選択肢にある「技術革新（イノベーション）」は産業革命に含まれる要素の一つですが、社会全体の変革を指す語としては「産業革命」が適切です。
問3	答え 2 領事裁判権を認め、関税自主権がない。	領事裁判権（治外法権）を認めることは、日本国内での外国人による犯罪をその国の領事が裁くことを意味し、日本の裁判権が及ばない不利な条件でした。また、関税自主権がないことにより、日本は安価な外国製品に適切な税をかけることができず、国内産業の保護が困難になるという経済的な不利益を被りました。
問4	答え 2 函館	日米和親条約は、1853年のペリー来航を受けて翌1854年に締結されました。この条約によって、それまで鎖国を行っていた日本は、静岡県の下田と北海道の函館（当時は箱館）の2港を、アメリカ船の薪水や食料の補給地として開港しました。新潟、横浜、長崎などは、その4年後の1858年に結ばれた日米修好通商条約によって開港された、貿易を目的とした港です。
問5	答え 2 国内で南北戦争が勃発し、国外への貿易に注力する余裕がなくなった。	アメリカは1858年に日米修好通商条約を締結しましたが、直後の1861年から国内で南北戦争が始まりました。この内戦によりアメリカは日本との貿易を拡大させることが困難になり、その隙を突く形でイギリスが日本市場でのシェアを独占する形となりました。この状況は、後の幕末外交においてイギリスが新政府側を、フランスが幕府側を支援するといった勢力図にも影響を与えました。
問6	答え 1 奴隷制の拡大に反対する北部を率い、戦争中に奴隷解放宣言を出すことで国内外の支持を得て、国家の統一を維持した。	当時のアメリカは、工業化を進め奴隷制に反対する北部と、広大な農地で奴隷を利用した綿花栽培を続ける南部で利害が対立していました。リンカンが国家の分裂を防ぐために戦い、1863年に奴隷解放宣言を出すことで、戦争の正当性を世界に示して北部の勝利を決定づけました。他の選択肢は、ワシントンやルーズベルト、日本の明治政府の行動を記述したものです。
問7	答え 4 大政奉還	江戸幕府が政権を維持することが困難になったため、徳川慶喜が自ら政権を朝廷に返すことを決断した出来事です。これにより鎌倉時代から続いた武家政治が終わりを迎えました。誤答の「王政復古の大号令」は、大政奉還の直後に朝廷側が出した宣言であり、天皇中心の政治に戻すことを示したものです。
問8	答え 1 薩英戦争	1860年の桜田門外の変で幕府の権威が失墜した後、1863年に薩摩藩とイギリスの間で薩英戦争が起こりました。この戦いを通じて薩摩藩は、武力で外国を追い払う「攘夷」の可能性を悟り、急速に西洋の技術導入と軍備の近代化へ舵を切ることになりました。これが後の倒幕運動の重要な転換点となります。
問9	答え 3 太平洋を経由して東アジアとの貿易を拡大すること	19世紀中頃、アメリカ合衆国は「明白な天命（マニフェスト・デスティニー）」を掲げて西部の開拓を進め、領土を太平洋まで広げました。太平洋に面したことで、海を隔てた東アジア市場への関心が高まり、中国（清）との貿易における中継地点や、捕鯨船の寄港地を確保するために日本への開国要求などを行うようになりました。
問10	答え 4 イギリスとのアヘン戦争に敗れた清の惨状を伝え、蒸気船の発達などにより鎖国の維持が困難であることを警告した。	1840年から始まったアヘン戦争で、大国であった清がイギリスに敗北したニュースは、当時の東アジア諸国に大きな衝撃を与えました。長崎を通じて唯一の欧州の通商国であったオランダは、蒸気船などの技術革新によって世界的な移動距離が短縮されている現状を指摘し、日本がこれまでの鎖国政策を維持し続けることは、イギリスなどの強国との武力衝突を招く恐れがあり危険であると判断して、幕府に平和的な開国を勧めました。
問11	答え 2 安価な綿織物が大量に輸入されたことで、国内の綿織物業や綿作が大きな打撃を受けた。	開港後の貿易では、産業革命を経たイギリスなどから安価で質の高い綿製品（綿糸・綿織物）が大量に流入しました。これにより、それまで国内で自給自足的に行われていた綿作や手工業による綿織物業は価格競争に敗れ、深刻な打撃を被ることになりました。一方で、輸出向けの商品として需要が高まった生糸の原料となる養蚕業などは、現金収入を得る手段として大きく発展しました。
問12	答え 4 反射炉	静岡県にある韮山反射炉は、実際に大砲を鑄造した反射炉として現存する唯一の遺構であり、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の一つにも含まれています。当時、西洋の技術書を翻訳・研究し、薩摩藩や肥前藩が先駆けて導入したこの施設は、日本の近代工業化の発祥点として位置づけられています。
問13	答え 3 貿易商人が輸出用の商品を確保するために国内産品を買い占め、国内市場で品不足が発生したため	開港によって自由な貿易が始まると、海外で需要の高い生糸や、人々の生活に欠かせない米などが輸出に回されるようになりました。特に、利益を狙った貿易商人たちがこれらの商品を国内で買い占めて輸出したため、日本国内の市場に出回る量が極端に少なくなる「品不足」の状態に陥りました。需要に対して供給が追いつかなくなったことで物価が跳ね上がり、都市部の住民や農民の生活は非常に苦しくなりました。